

三重大学広報誌

三重大

X
えっくす

vol. 32 2014 SUMMER
MIE UNIVERSITY X



CONTENTS

ホットNEWS 01

三重大の新展開!

気になるNEWS 11

スポット/クラブ・サークル 13

本の紹介 15

表彰 16

お知らせ 18

歴史街道シリーズ 22

特集 05

輝くOB・OG 第5弾

ホット NEWS

三重大の新展開!

ユニークな研究でオンリーワンを目指す



マリンフードイノベーション



防災・減災対策



ミュージアム構想



地域活性化

三重大はユニークな研究・教育活動を様々に展開しています。今年1月、最新設備を備えた「地域イノベーション研究開発拠点」が完成しました。また、産学官連携の取り組みとして「みえ防災・減災センター」、「伊賀地域の活性化」、「マリンフードイノベーション創発ユニットの構築」をスタートしました。さらに、知と創造の拠点となる「ミュージアム構想」も展開中です。三重大のユニークでオンリーワンの取り組みに是非、ご注目ください!

誕生

地域イノベーション研究開発拠点

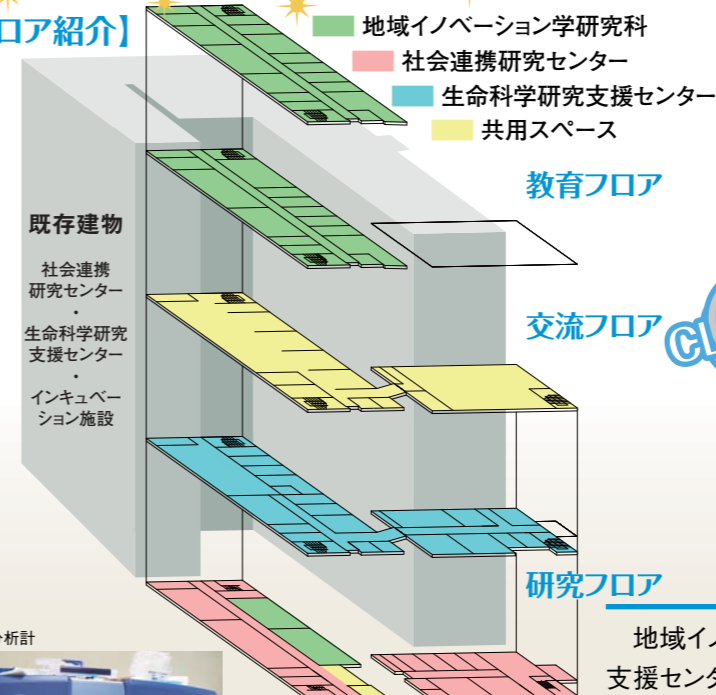
新事業開拓に貢献する高度人材の育成・新技術開発



2014年1月10日 完成記念式典

地域社会に貢献できる三重大を目指します!

【フロア紹介】



既存建物
社会連携研究センター
生命科学研究支援センター
インキュベーション施設

教育フロア

若手研究支援戦略スペース
学生の教育・研究と地域企業の研究開発を支える実験室

交流スペース
自由な学習スタイルを可能にするスペース

交流フロア



交流ホール
各種シンポジウム、セミナー、ポスターセッション等による地域と大学との情報交換・交流の場

研究フロア

質量分析計

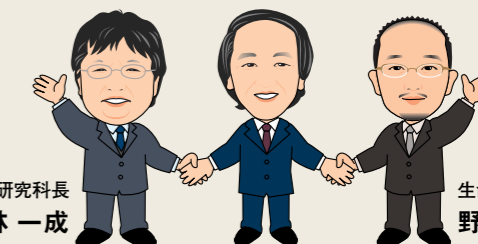


最先端機器の集中配置
最先端機器を備えた実験室を配置し、学内・地域の研究開発を強力に支援

次世代シーケンサー



地域イノベーション学研究科、社会連携研究センター、生命科学研究支援センターの教育力・研究力を結集し、大学の力、地域の力、企業の力をつなぎ、三重県的发展を担う「人財」地域の「イノベーション」を生み出します。



地域イノベーション学研究科長
小林 一成

社会連携研究センター長
吉岡 基

生命科学研究支援センター長
野阪 哲哉

展開中

みえ防災・減災センター

当センターは、三重県と連携し、防災に関する人材育成・活用、地域・企業支援、情報収集・啓発、調査・研究、などに取り組み、三重県における地域防災力の向上に資することを目的としています。センターでの調査・研究成果や防災人材を活用した実践的な対策を実施できるように、市町・大学・企業・地域などを結ぶ「防災ハブ」の機能を持ちながら、他の関係機関等と連携することでシンクタンク機能もあわせ持った防災拠点を目指します。



鈴木英敬三重県知事と看板上掲 (2014.4.18)



学生による市街地でのまちづくり調査 (2013.9.4)

伊賀における「忍者文化」に着目した地域活性化

伊賀市及び上野商工会議所と共同で、新たな忍者文化研究の構築を目指しています。伊賀の忍術書等を学術的に検証し、忍者独自の自然科学的情報をひもとくことで、これまで未知の部分が多かったNinja研究を世界に発信します。この研究成果を教育・研究・産業へ応用展開していくとともに、忍者文化継承の地である伊賀地域の振興を支援します。

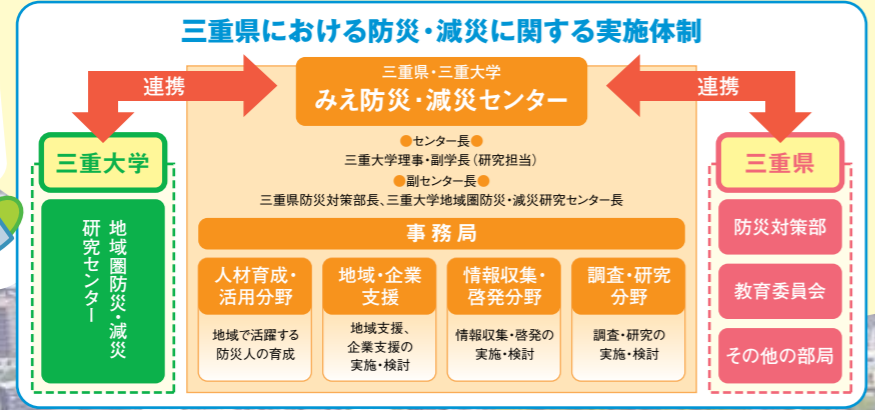
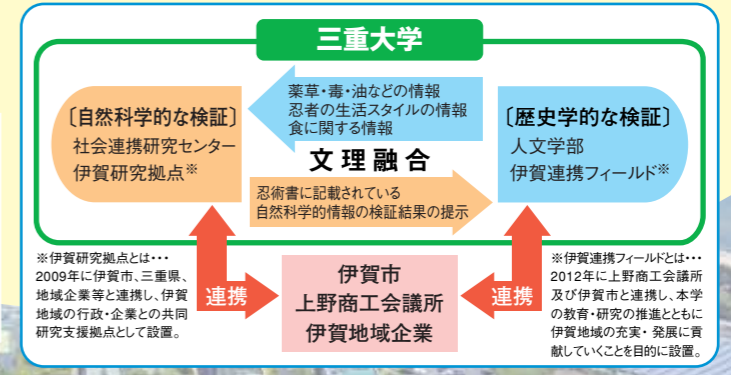


日本橋の三重テラスでの「忍者・忍術学講座 in Tokyo」 (2014.5.31)



「防災・危機管理トップセミナー」 (2014.5.30)

三重大のオンリーワンの取り組みを紹介します。



地域の輪をつなぐ 実践的な防災拠点!



展開中

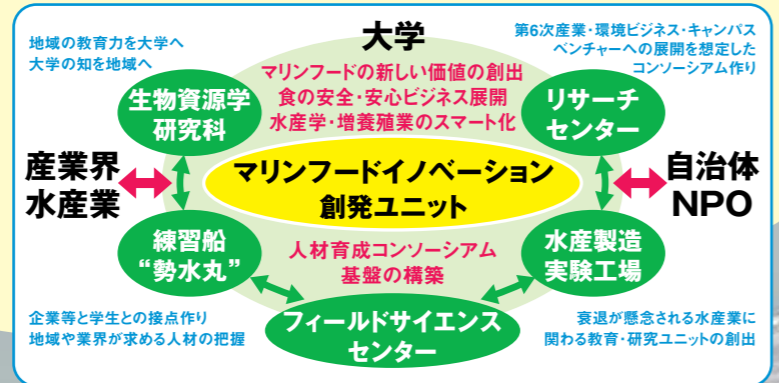
忍者の知恵を現代に生かそう!



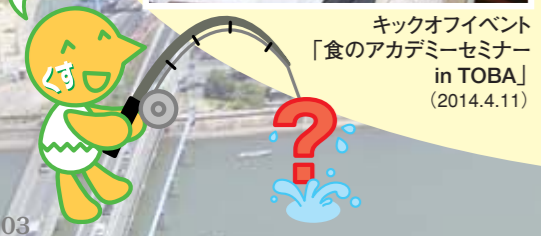
展開中

マリンフードイノベーション 創発ユニット構築プロジェクト

当プロジェクトは、魚介類の増養殖、食の安全・安心を推し進め、6次産業化や環境ビジネスを地域に生み出すための研究現場実証拠点として、農場、演習林、水産実験所、練習船と水産製造実験工場の機能拡張を行い、キャンパスインターンシップなどの人材育成に通じるコンソーシアム基盤の構築を行います。



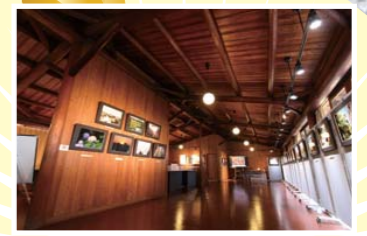
知られざる 三重県の美味しいものを再発見するよ!



「三重大大学ミュージアム構想」と地域・広域グローバル連携

本学の「レーモンドホール」は、建築家アントニン・レーモンドが1951年に三重県立大学の附属図書館として設計。日本の木造モダニズム建築の出発点となる歴史的建造物として、国の登録有形文化財となりました。2014年、耐震改修工事に伴って原型を忠実に復元し、地域にも開放した芸術・文化活動の拠点としてリニューアルオープンしました。「レーモンドホール」及び、世界一の環境先進大学を目指す本学の環境教育や環境研究の拠点である「環境・情報科学館」、歴史や文化資料展示の場となる「三翠会館」を繋ぐ「三重大大学ミュージアム構想」を立ち上げ、知と創造の拠点となることを目的としています。三重県総合博物館(MieMu)との連携による学芸員養成、地域の多様なミュージアムを繋ぐツアー等の企画、地域に根ざし、世界に通用する人材の育成など、地域及び海外との連携による「三重大大学ミュージアム構想」の新たな展開にご期待ください。

NEW



レーモンドホール (2014.4.15リニューアル)



水産物の新たな価値の創出!

三重大大学発 知と創造の拠点!



特集

輝くOB・OG

第5弾

これまで三重大大学という学舎で育った卒業生は約70,573名、社会の様々な分野で活躍中です。

お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございます。



★運命を受け入れ、未来を切り拓く「Pioneer」!

File. 21

★ないない尽くしの大学生生活

今の三重大は設備も講義も充実していますね。私が人文学部の一期生として入学した当時(昭和58年)は、専任の教員もおらず文献も揃ってはいませんでした。それどころか人文学部の校舎すらなく、野原が広がっている状態でした。ですから自分たちで勉強会を開いたり、講義外にも教員と積極的に議論するなどして、知識の補てんをしていました。与えられた環境は十分ではなかったかもしれませんが、道を切り拓いていく「開拓(Pioneer)精神」は大学時代に磨かれたのかもしれない。

来年は
コミュニティ政策学会
全国大会を伊賀で開催
するよ



第27回青山高原つつじクォーターマラソン大会に参加(2014.5.25)

★年男に訪れる転機

卒業後は通商産業省(現:経済産業省)に入省し、主に航空機産業を担当していました。しかし、地元の三重県を元気にしたいという思いから、辞表を出して三重県庁に転職。それから24年間、文化政策やバリアフリー、市町村合併、議会改革など、当時前例があまりない職務ばかり経験しました。同僚からは「お前、またそんなとこに配属されたの?」とよく冷やかされました(笑)。しかし任された以上は、結果を出せるよう努めました。実は、県庁に転職したのが24歳、市町村合併を担当したのが36歳、そして今の副市長になったのが48歳と、なぜか年男には大きな転機が訪れています。定めと思ってありのままを受け入れ、その時々最大限の努力をすることが大切ですね。

★とにかくアクティブに前向きに

じっとしているのが我慢できない性格なんです。仕事だけ充実しても面白くない。そう思って、プライベートでは、地元の伊賀を中心に様々なまちづくり活動を行ったり、各種学会に参加したりしています。副市長としての現任期中に、伊賀市の職員の質を高める仕掛けもどんどん作っていきたくと考えています。

伊賀市役所
副市長
辻上 浩司
Tsuji kami, Hiroshi

三重県生まれ。1987年人文学部社会科学科(第一期生)を卒業。通産省を経て三重県職員。2013年1月から特別職として伊賀市副市長に就任。



伊賀上野城を後方に望む(三重県伊賀市「ハートピア伊賀」)

～学生へのメッセージ～
あたえられたことに必死に取り組んでみてください。努力はきつと開花します!

★頭で「思考」体で「試行」!至高の授業で子どもを育てる

File. 22

★文武両道のスポーツマン!

子どもの頃から体を動かすことが大好きでした。特にサッカーが大好きで、小学校4年生から大学生まで続けました。じっとしてられない性格で、「自分は普通のサラリーマンにはなれないな」と悟りました。そこで「体を動かす仕事」がしたいと考え、スポーツ科学が有名な大学を目指していました。しかし、三重大OBだった高校の先生の勧めを受け、三重大大学教育学部保健体育コースに入学しました。部活は迷うことなくサッカー部に入学し、副将を務めました。また、「せっかく同じ授業料を払うなら、たくさん授業を取ろう」と奮起し、単位はもちろん、教員免許5つ、図書館司書の資格も取り、充実した学生生活を送りました。睡眠時間は犠牲になりましたが(笑)。

★転機となった恩師との出会い—そして教師へ

目標となる人を見つけるということは、自分のやりたいことが決まるということだと思います。中学生の頃はスポーツトレーナーに憧れていましたが、大学時代の指導教員の山本俊彦教授と岡野昇教授に感化され、大学2年生の頃から小学校の教師を本格的に目指すようになりました。お二人から、人と向き合い学ぶことの大切さに気付かされました。

教師になり驚いたことは、子どもは大人をよく見ているということです。子どもを指導する以前に自分がしっかりしないとイケない。絶対に妥協してはダメ。辛いときもありますが、自分が頑張れば頑張るほど、子どもは応えてくれます。とてもやりがいのある仕事です。

★遊びの大切さ、体育の可能性

子どもを取り巻く社会環境の変化に伴い、体育が担う役割も変化します。習い事で遊ぶ時間がない、防犯・不審者等の問題で公園で遊べない、近所付き合いが減り友だちが作りづらい...近年の子どもたちに不足している「遊ぶ時間、空間、仲間」を、体育の授業の中で充実させていきたいと思っています。何かを身につけるためだけに運動するのではなく、運動自体のおもしろさを知ってほしいですね。子どもたち一人ひとりの表情がキラキラ輝く授業を目指します!

三重大大学教育学部附属小学校教諭
(体育)

矢戸 幹也
Yato, Kanya

福井県生まれ。2005年三重大大学教育学部卒業、2007年教育学部大学院修士課程修了。四日市市立三重北小学校に5年間勤務し、2013年より現職。



三重大大学教育学部附属小学校 体育館にて(三重県津市)

友だちと運動を楽しみながら、頭もフル回転!



子どもたちは遊びの中で自然に成長していくんだね。矢戸先生はそんな授業を目指しているよ!

～学生へのメッセージ～

失敗を恐れず、たくさん人生経験をしてください。後に活かしたら、失敗ではなく財産になります!



世界へ挑むサムライドクター

一つの事を一生懸命やり通す

中・高・大学と一貫して剣道部に所属していました。高校総体では愛知県の決勝までいった事もあり、現在も剣道大会のOB戦に呼ばれる事があります。剣道を通して、苦しい事を乗り越えて一つの事を一生懸命やり通す精神を学びました。そのおかげで部活に熱中し過ぎて、あまり勉強はしなかったですね(笑)。一番勉強した時期は研修医として第一外科に入局した時で、大学で部活に費やした時間を取り戻すために頑張りました。

自分を変えるために世界へ

全国指導医講習会の講師として指導医の育成に携わった際、他の講師達の目標に邁進して充実している姿に影響され、「本当に自分がやりたいことは何だろう」と考えるようになりました。そして、今の自分は中学生の時に目指していた医師像と違うことに気づき、それを変えるために医師20年目にして思い切って病院を辞め、国境なき医師団^{※1}に参加しました。去年12月に行ったシリアを含めて8か国に行きましたが、地域によって求められる医療が異なり、専門(消化器外科)外の産婦人科、整形外科などの医療提供も知識と経験を応用することで乗り越えてきました。「国際医療」はあらゆるニーズに対応して成り立つものなのです。

ニーズがあるから医療が成り立つ

日本では、桑名東医療センターで若手医師や研修医に「国際医療」などの教育を行っています。医療の根本は「ニーズがあるから医療が成り立つ」です。若手医師達には自分ができる医療ではなく、広い視野を持って必要とされる医療を行えるようになって欲しいと思っています。広い視野を持ち、他の領域を取り入れて大きなベースを作り、そこへ積み上げていかないと高度な医療は提供できません。これからも若手医師に自信を持って背中を見せられるように色々な事に挑戦していきたいです。

今までに
リベリア、シエラレオネ、ナイジェリア、
スリランカ、パキスタンなどで
医療活動をしたんだって!



桑名東医療センター
手術室部長、研修管理委員長

久留宮
隆
Kurumiya, Takashi



桑名東医療センター救急外来にて
(三重県桑名市)

File. 23

愛知県生まれ。1984年医学部卒業。1984年附属病院第一外科入局。その後、県内病院などを経て、2004年国境なき医師団外科ミッション参加。2007年～2011年国境なき医師団日本の副会長。海外医療活動を行いながら2009年より桑名東医療センター勤務、現在に至る。

久留宮先生は
MMC^{※2}実行委員の
一人なんだよ



※1 中立・独立・公平な立場で医療・人道援助活動を行う民間・非営利の国際団体

※2 NPO法人MMC (MIE medical complex) 卒後臨床研修センター…より良き医師を三重県内で育てて、定着してもらう活動をしている組織

～学生へのメッセージ～

地道に努力すれば「夢」はいつか必ず叶います。諦めるから叶わないのです。



開かれた視界が宇宙を拓く

衛星開発を支える仕事

現在携っているのはX線天文衛星「ASTRO-H」の打ち上げプロジェクトです。科学衛星としてはかなり大きいもので、2015年度に種子島での打ち上げを予定しています。私の専門は電源系になるのですが、このプロジェクトでは、主に信頼性、安全性、品質保証の観点から、設計、製造、最終試験のそれぞれの段階での開発管理を行っています。この「ASTRO-H」をいかに高品質、高信頼性に仕上げるかが一番の目標ですね。

最高水準の科学衛星を

開発管理という仕事は、疎かにするとプロジェクトが失敗するだけでなく、墜落による2次災害を及ぼしかねません。「これでいいんじゃない?」というような妥協は絶対に許されません。性能検証を行う際には、最終的に大型真空槽を使って擬似宇宙空間を作り、かつ高温から極低温まで、限りなく宇宙に近い状況を再現して行います。これをクリアしてようやく打ち上げ可能と認めることができます。



JAXA宇宙科学研究所
M-3SIIロケット原寸模型前にて
(神奈川県相模原市)

File. 24

可能性は限りなく

私はいつも、物事を決め付けてかかることの無いように心がけています。今の職務がまさにそうで、「安全なように見えて危ない部分」を見つけることが重要なのですが、「これで大丈夫」と満足してしまえばそれ以上の品質は求められません。それは人間関係も同じです。とても立派に見える人がそうでもなかったり、だめに見える人にもいいところがあったり。ある考えに凝り固まってしまうと、視界が狭まり本質が見えなくなってしまう。それは様々な可能性を狭めることになると思います。

何かに取り組むときにも何かを目指すときにも、先入観には囚われないように。答えはひとつだとしても、アプローチの方法は決してひとつではありませんよ。



JAXA宇宙科学研究所
ASTRO-Hプロジェクトチーム主任開発員

岡崎
健
Okazaki, Tsuyoshi

鳥取県生まれ。1973年工学部電気工学科卒業(工学部1期生)。卒業後、NECに入社し、人工衛星のシステム開発や信頼性管理などに携わる。その後、2011年にJAXA(宇宙航空研究開発機構)に入社し現職。

岡崎さんは
日本の衛星開発に数多く
関わっているんだよ。



ASTRO-Hが打ち上げれば
宇宙の謎が新たに解明される
かもしれないね!

～学生へのメッセージ～

視野を広く、時には自分を離れて「これでいいのか?」と客観的に見つめ直すことも重要です。

★自然と人をつなぐ行政マン

霞が関、実は体育会系!

自然環境の保全に関する仕事で、日本全国を回ります。新潟ではトキの野生復帰事業で棚田の保全事業に携わり、環境省に出向して初代里地里山保全専門官として水田、河川やため池など身近な自然環境の保全・再生に関わり、現在は諫早湾干拓事業の環境アセスメントを担当しています。農林水産省と言うと固いイメージで見られますが、職場の雰囲気は体育会系。採用面接では体力に自信があるか聞かれました(笑)。入省した頃と変わらず今でも会議の資料準備等で庁内を走り回ったり、終電に間に合わなくなって職場に泊まったり、体力勝負な仕事です。でも、仲間意識が強く、楽しく仕事をしています。農林水産省には意外と三重大農業土木卒業生が多いんですよ。

経験と絆

学生時代はよく遊びました。勉強より遊んだことをよく覚えています。部活や学祭、当時あったみこし行進に参加し、先輩や後輩とのつきあい方を身に着けました。これらの経験が、今とても役に立っています。

また、狭い業界なので、仕事上で大学時代の恩師に会う機会もあります。社会に出ると、こういう絆が役に立つことが実に多いと思います。

キーワードはコミュニケーション力と忍耐力!

自然環境の保全は、そこに住んでいる人々に納得してもらえないと持続しません。地元に通って、農業、林業、漁業など職業も年齢も様々な方と話をします。何度もお宅を訪問し、世間話から始めて、時間をかけてコミュニケーションを図りました。いろいろな場所での多くの方との出会いが、私自身の人生勉強になっています。

自然は、様々な人に影響を与え、人との絆で成り立っています。自然環境に関する事業は、1、2年で結果が出るものではなく、時間がかかります。その分やりがいは大きく、減農薬、無農薬農業を実施し、生物が帰ってきたと聞いた時は嬉しかったですね。これからも農村環境を守る取り組みに関わっていきたいと思っています。

農林水産省農村振興局整備部農地資源課課長補佐

土屋 恒久
Tsuchiya, Tsunehisa



農林水産省にて(東京都千代田区霞が関)

File. 25

三重県生まれ。1995年生物資源学部を卒業し、農林水産省入省。環境省自然環境局、九州農政局、新潟県農地部農村環境課を経て2012年4月から現職。

土屋さんと同じ農地資源課で地域整備第1係長の鈴木智也さんも三重大農業土木コース卒業生なんだよ。



三重大農業土木卒業生が集まる「東京志登茂会」の総会では、皆で三重大の応援歌を歌うんだって。

~学生へのメッセージ~

学生時代は、いろいろな経験を重ねて多くの人との出会いを大切にしてほしい。社会に出た際に、きっと役立つ立ちます。



★サステイナブルな地域社会を

File. 26



2014年3月に、博士の学位を取得したんだよ!

勉強熱心な社長さんだね

株式会社サイネックス 代表取締役社長

村田 吉優
Murata, Yoshimasa

三重県生まれ。1976年早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。1976年自由民主党本部事務局に就職。1978年商工印刷工業(株)(現:株サイネックス)入社。1997年同社代表取締役社長に就任し現在に至る。2014年三重大大学院地域イノベーション学研究所(博士後期課程)地域イノベーション学専攻修了。

地域再生なくして日本の再生はない!

弊社の事業は、「地域への貢献」という創業以来の精神に基づいており、地域へのこだわりと情熱はどの企業にも負けないと思います。しかし、東京一極集中が進み、東京は繁栄しているが、地方はシャッター街に象徴されるように疲弊しています。これでは健全な国家とは言えません。地域再生なくして日本の再生はないと考えます。

産学官連携について

地方を活性化させるには、各地域が自立し、地域間で特徴を出し合って競争していかなければなりません。ただし、財政難の国に頼っていても何もできません。地域が自主自立で、自力で取り組まなければなりません。そのために、それぞれの能力を発揮することで相乗効果を得られる産学官連携の手法は、地域再生に不可欠であり、日本再生の突破口になるものと信じます。

三重大の地域貢献を重要視する姿勢は、弊社の発想と一致しています。今後も協力して地域貢献を推進していきたいと思っています。

共助精神による“相反両立”

弊社は、創業以来地域の情報メディアを手掛けてきました。中でも、行政情報誌「わが街事典」事業では、広告事業化により自治体に財政負担をかけず、編集・出版も弊社のノウハウを活用するというビジネスモデルを構築しました。社会貢献とビジネスは、二律背反の関係にあります。弊社の事業は、共助精神によって相反するものを両立させる仕組みが組み込まれております。こうした事業モデルを社会全体が共有するようになれば、大きく社会を変革できます。それはこの国の新たな成長につながると思います。

~学生へのメッセージ~

良い意味で尖った人になってほしい。社会を変革させるイノベーションを起こせ!



株式会社サイネックス本社にて(大阪府大阪市中央区)



1月

6日～4月16日
文部科学省エントランスで練習船「勢水丸」の取り組みを紹介
 文部科学省のエントランスにおいて、「教育関係共同利用拠点 練習船「勢水丸」」の取り組みを紹介する映像やパネル、50分の1模型が展示されました。



10日
山中伸一文部科学事務次官が構内を視察
 山中伸一文部科学事務次官が来学され、内田淳正学長、役員と本学の教育や研究活動について意見を交わした後、環境・情報科学館や附属病院救命救急センターなどを視察されました。



11日
「海の博物館と海女小屋」見学会
 (平成25年度日本/ユネスコパートナーシップ事業)
 ESD*に基づいて、三重県特有の海女文化の魅力を理解し、次世代まで継続していく担い手を育成することを目的に、海の博物館と海女小屋の見学会が行われ、役員や学生など43人が参加しました。



*持続可能な開発のための教育 (Education for Sustainable Developmentの略)

2月

3日
三重大学・連合教養講座
「働くことを軸とする安心社会の実現に向けて—これからの社会を担う皆さんへのメッセージ—
 共通教育科目「教養社会学Ⅵ」の一環として、日本労働組合総連合会の古賀伸明会長から「働くこと」をテーマに講演があり、その後、内田学長も参加してディスカッションが行われました。



4日
韓国、モンゴル、ウズベキスタンからの短期留学生在が「四日市公害」を学習
 四日市市環境学習センターにおいて、グローバル環境人材育成プログラムで来日している留学生が四日市公害に関する講演を受講後、四日市コンビナートなどを見学しました。



16日～17日
昨年大型台風で被害を受けたフィリピンレイテ島の交流大学へ義捐金を贈呈
 本学の役員、教職員ら3人がフィリピン大学マニラ校保健学部とビサヤ州立大学(レイテ)を訪れ、被害状況の視察や義捐金の贈呈を行いました。



27日
みえアカデミックセミナー2013移動講座
 教育学部の後藤洋子教授が「健康な体をつくる手軽な体操の提案」と題した講演や「あっぱれ体操」の実演を行い、参加した39人は自宅で簡単にできる体操を楽しく学びました。



3月
第9回こども大学
 実験や工作などを通じて科学を楽しく学んでもらうことを目的とした小学生対象のイベントが開催され、参加した60人の子供達は入浴剤や竹あんどんづくりなどを体験しました。



4月

12日
伊賀連携フィールド2014年度前期市民講座(第1回)
 初回講座(全6回)として人文学部の山田雄司教授から「大正時代の忍者研究」と題した講演があり、受講者から「忍術研究の変遷がよくわかった」と大変好評でした。



5月

25日
生命の駅伝ジョイント市民公開講座
 附属病院がんセンターの主催により、がん医療の現状や対策について理解を深めてもらうことを目的とした講演、学生による救急救命実演などが行われ、約220人が参加しました。



27日
MUS-net活動報告会in三重大学
 MUS-net(三重大学災害ボランティア支援団体)から団体紹介や学内・学外での活動内容について報告が行われ、参加した約40人は防災意識を高めました。



28日～6月3日
第7回「大学は美味しい!!」フェア
 新宿高島屋において、大学発の美味しいものを紹介するフェアに本学が3年ぶりに出展し、三重大学カレーや梅酒「三重大学」など三重大学ブランド商品の紹介・販売を行い、好評を博しました。



31日
忍者・忍術学講座 in Tokyo
～忍者発祥の地・伊賀から～
 東京日本橋にある三重テラスにおいて、山田雄司人文学部教授と川上仁一社会連携特任教授が忍者をテーマに講演しました。



講演をする川上社会連携特任教授

6月
レーモンドホールリニューアル記念特別写真展
「美しき三重大学-四季の彩り-」
 リニューアルされたレーモンドホールにおいて、写真歴50年の田口 寛名誉教授が撮影した本学の風景写真約10,000枚から「三重大学の四季」をテーマに選び抜かれた32枚を展示し、多数の来場者が足を運びました。



気になるEXTRA

新しい大学ブランド「三重大学[欧風]ジビエカレー」が誕生しました

本学と三重県 獣害対策課、県内企業のヤマモリ(株)の協力により、三重県で捕獲されたシカ肉を利用した新ブランド商品「三重大学[欧風]ジビエカレー」が誕生し、販売を開始しました。



本学演習林を撮影場所に提供! 映画『WOOD JOB! ～神去なあなあ日常～』

5月10日に公開された映画『WOOD JOB! ～神去なあなあ日常～』の撮影に本学演習林が協力しました。



実際に撮影が行われた講義室
 他の撮影場所にもなった速水林業に学生が取材したよ! P.13を見てね

新しい憩いの場ができました ～翠の小径～

附属病院の北側に新しい公園が整備され、学生と教員により「翠の小径」と命名されました。



三重のピカ1

三重県でピカッと輝く企業を紹介します。

私たちが取材してきました

高橋 レポーター

飯田 レポーター

～速水林業の森林は、使う人々に喜びを感じて頂けるようなヒノキを、環境と社会性を持った森林経営で供給し続けます～

- 名称/速水林業
- 所在地/〒519-3413 三重県北牟婁郡紀北町海山区引本浦345
- 代表者/速水 亨
- 事業内容/林業全般と同関連事業

【URL】 <http://www.re-forest.com/hayami/index.html>

◀映画「WOOD JOB! (ウッジョブ) ～神去なあなあ日常～」の撮影に使用されたスギの大木

ピカ1 林業の壁をつきやぶる!

速水林業は日本林業の何十年も先を行く

速水林業は古くから林業が栄えた尾鷲地域の紀北町で1790年頃から林業を営んでおり、現代表の速水 亨さんは9代目です。亨さんの父、勉さんの代から林業を専業とし、変化を恐れない姿勢で日本林業のトップを走ってきました。例えば、日本では他に先駆けて林内路網を整備し、海外から林業機械を輸入して作業の機械化に取り組みました。また、2000年には日本で初めてFSC認証※を取得し、近年は育林コスト削減のために独自で苗木の改良に取り組んでいます。

※FSC認証…世界的に認知されている「森林管理協議会」による認証規格



何が変革を可能にするのか

速水林業が新しい挑戦を成し遂げられた背景には、衰退していく林業の現実を直視し、これまでの経営に対する問題意識を持ったことにあります。しかし闇雲にやり方を変えるのでは、結果が出る20年後、30年後には失敗しているかもしれません。これを回避するために樹木や土壌から社会経済まで様々な関連分野の知識をもって分析し議論する。このような姿勢が林業経営の変革を可能にしています。



重労働で手間のかかっていた植林がぐっと効率的になったね。

林業のこれから

現在、日本林業は危機的状況にあると言えます。しかし、速水さんのお話には林業を明るくするヒントが散りばめられていました。ぜひ一度、速水林業の森を訪れてみてください。良質な木材を生産するその美しい人工林には、生命の息遣いがあふれています。様々な資格を持つ従業員の方々が、地域の人に認められる森林管理をしようと作り上げてきた森です。きっと、林業の大きな可能性を感じてもらえることでしょう。

CLUB クラブ・サークル CIRCLE

卓球部

活動は
日時/毎週月曜日・火曜日・木曜日・金曜日 16:30～21:00
毎週土曜日 13:30～18:00
活動場所/第一体育館ダンス場
屋内トレーニング場(木曜日のみ)



こんにちは!三重大学卓球部です。昨年度、男子が団体の部で2年連続インカレ出場を果たし、男子女子ともに全国国公立大学卓球大会団体の部でベスト8に進出するなど好成績を残してきました。今年度はまだ目立った戦績はありませんが、先輩たちに負けぬよう日々工夫しながら仲良く練習を行っています。卓球は男女関係なく楽しめるスポーツです。興味がある方はぜひぜひ見学に来てください!



代表 太田 直希
(工学部物理工学科 2年)
【サイトURL】 <http://mieuttc.web.fc2.com/>

アンビシャスカード

活動は
日時/毎週火曜日・木曜日 16:20～21:00
活動場所/翠陵会館(第四集会場)



初めまして。マジックサークル「アンビシャスカード」です。3年前に立ち上がった新しいサークルですが、現在のメンバーは57人となりました。毎週火曜日と木曜日に活動を行い、皆で仲良くマジックの練習に励んでいます。トランプやコインを使った、お客さんに近距離で見ただけのクローズアップマジックが中心です。学祭では本格的なマジックをお見せする「手品の部屋」を企画し、毎年多くの方から好評をいただいております。また、学外からの依頼活動も行っており、子ども会や幼稚園、お祭のブース等で披露させていただいております。興味のある方!お気軽に見学・ご連絡ください!



代表 中村 知弘
(教育学部社会科教育コース 3年)
【サイトURL】 <http://mieumagic.yumenogotoshi.com/>
【ツイッターURL】 <https://twitter.com/annbisycard>

本の紹介



【何とかなる】
内田淳正学長が自らの人生を綴った本ができました。「自分の思いのようには進まないのが人生でしょうか。想定外の連続です。だから面白い」(本書より一文を抜粋)

単著／内田淳正(三重大学長)
定価／800円(税抜)
発行／中部経済新聞社
頁数／265ページ
ISBN／978-4-88520-184-4



【契約不履行法の理論】
本書は、契約不履行に基づく損害賠償について、フランス法との比較を通じ、あるべき基本構想＝履行モデルを抽出し、解釈論及び立法論の枠組みとして提示したものです。

単著／白石友行(人文学部・准教授)
定価／19,800円(税抜)
発行／信山社
頁数／880ページ
ISBN／978-4-7972-6707-5



【近世伊勢神宮領の触穢観念と被差別民】
本書は近世伊勢神宮領を対象に、神道固有の触穢観念の時期変化と、特有の生業を営んだ被差別民の存在形態との関係を分析することで、当地の特異な地域性を明らかにしました。

単著／塚本 明(人文学部・教授)
定価／9,500円(税抜)
発行／清文堂出版
頁数／430ページ
ISBN／978-4-7924-1007-0



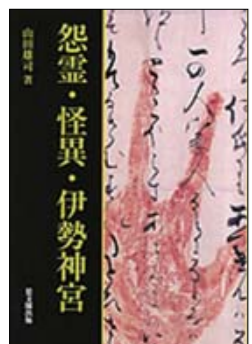
【研究者のための思考法10のヒント-知的しなやかさで人生の壁を乗り越える】
「研究者の仕事術」「研究者の英語術」に続く研究者3部作の完結編。幸福のメカニズム、独創性の功罪、天職の見つけ方など、不確実な社会を研究者がしなやかに生き抜くための考え方のヒントを提供します。

単著／島岡 要(医学部・教授)
定価／2,700円(税別)
発行／羊土社
頁数／222ページ
ISBN／978-4-7581-2037-1



【天下統一】
本書は、明治時代以来の信長・秀吉による天下統一像の克服をめざして、彼らが戦国大名となりに異なっていたのか、彼らの「革命」の本質とはなにかという視点から論じたものです。

単著／藤田達生(教育学部・教授)
定価／860円(税抜)
発行／中公新書
頁数／294ページ
ISBN／978-4-12-102265-3



【怨霊・怪異・伊勢神宮】
これまで歴史学では等閑視されていたものの、古代・中世の日本人の心性に大きな影響を及ぼした怨霊・怪異について、伊勢神宮と関連させながら明らかにしようとした心がけました。

単著／山田雄司(人文学部・教授)
定価／7,000円(税別)
発行／思文閣出版
頁数／448ページ
ISBN／978-4-7842-1747-2



【文化、文学と中日関係】
共著／尾西康充(人文学部・教授)
定価／58,000円
(2014年7月1日現在)
発行／中国社会科学出版社
頁数／364ページ



【忍者の教科書 新萬川集海】
監修／山田雄司(人文学部・教授)
定価／600円(税抜)
発行／笠間書院
頁数／48ページ
ISBN／978-4-305-70724-6



【研究者文芸読本】
共編著／吉丸雄哉(人文学部・准教授) 山田雄司(人文学部・教授) 尾西康充(人文学部・教授)
定価／1,800円(税抜)
発行／笠間書院
頁数／254ページ
ISBN／978-4-305-70732-1



【歴史を読み替える ジェンダーから見た世界史】
共著／小川眞里子(人文学部・特任教授)
定価／2,800円(税抜)
発行／大月書店
頁数／320ページ
ISBN／978-4-272-50181-6



【NASH・アルコール性肝障害の診療を極める—基本から最前線まで】
編著／竹井謙之(医学部・教授)
定価／12,000円(税抜)
発行／文光堂
頁数／416ページ
ISBN／978-4-8306-1891-8



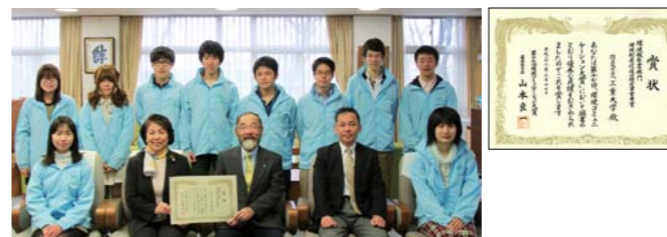
【古記録による11世紀の天候記録】
編著／水越允治(三重大学 名誉教授)
定価／35,000円(税別)
発行／東京堂出版
頁数／448ページ
ISBN／978-4-490-20864-1



【中部圏における多文化共生のあり方～重点課題「コミュニケーション」と「外国人の子どもの教育」について～】
編著／伊藤達雄(三重大学名誉教授)
定価／非売品
発行／公益財団法人 中部圏社会経済研究所
頁数／131ページ

第17回 環境コミュニケーション大賞【報告書部門】 環境配慮促進法特定事業者賞

●2014年3月17日
「世界一の環境先進大学」を目指す本学の、スマートキャンパス実証事業、画期的な環境教育、長期的視野に立ったCO₂排出量の削減目標を掲げていること等が評価されました。今回の受賞は5回目となります。



第八回 天満天神梅酒大会梅酒部門 『純米大吟醸梅酒三重大学』第2位

●2014年3月9日
梅酒の日本一を決める日本最大の梅酒コンテストにおいて「純米大吟醸梅酒三重大学」が、210銘柄が参加する中、見事第2位に選ばれました。この梅酒は、5月28日から6月3日に開催された新宿高島屋での「大学は美味しい!!」フェアでも大変好評でした。



【アマノリ養殖品種の特性】
共著／柿沼 誠(生物資源学部・准教授)
定価／非売品
発行／独立行政法人 水産総合研究センター 西海区水産研究所
頁数／145ページ
ISBN／978-4-9980694-2-3
※非売品は本学附属図書館に配架してあります。

平成26年 春の叙勲受章者

●瑞宝中綬章(教育研究功勞)
名誉教授(元三重大学工学部) 玉置維昭
「瑞宝章」は公共的な業務に長年従事して功勞を積み重ねた人に贈られるんだよ

教職員表彰

平成26年度 知的財産権制度関係功勞者表彰 知財功勞賞 特許庁長官表彰 (2014.4.18)

教育学部 教授 松岡 守

平成25年度 栄養指導業務事業功勞者三重県知事表彰 (2014.3.4)

医学部附属病院 管理栄養士(元食事療養室長) 三根登志子

受賞者	受賞名(受賞日)
医学部看護学科 教授 林 智子	日本看護研究学会第39回学術集会学会賞 (2013.8.22-23)
医学部附属病院 副薬劑部長 村木優一	平成25年度日本医療薬学会奨励賞 (2013.9.21-22)
医学系研究科 准教授 小林正佳	第20回日本鼻科学会学会賞 (2013.9.27)
医学部看護学科 教授 辻川真弓	Asian Oncology Nursing Society ポスター賞 (2013.11.22-24)
医学部附属病院 講師 水野修吾	日本外科感染症学会 最優秀論文賞(炭山賞) (2013.11.26)
生物資源学研究科 准教授 野中 寛	平成25年度日本エネルギー学会 進歩賞(学術部門) (2014.2.26)
人文学部 准教授 川口敦子	第35回 日本出版学会賞 共著書『キリシタンと出版』(八木書店) (2014.5.17)
人文学部 特任教授 小川眞里子	第八回日本科学史学会論文賞 (2014.5.24)

学生表彰

※()内は指導教員
学年は受賞当時

The 6th International Symposium on Nanotechnology, Occupational and Environmental Health (NanOEH) 2013WINNER (2013.10.31)



地域イノベーション学研究所(博士後期課程)2年 鈴木悠加
(市原佐保子 准教授)

農業食料工学会 関西支部例会 学生プレゼンテーション賞
(2013.11.01)



生物資源学研究所(博士前期課程)1年 小栗健史
(福島崇志 准教授)

平成25年度 農業農村工学会京都支部 研究奨励賞
(2013.11.13)



生物資源学部 4年 佐藤咲乃
(石黒 寛 教授)

2nd International Conference on Engineering Technology Best Presentation Award
(2013.12.13)



地域イノベーション学研究所(博士後期課程)1年 市川俊輔
(荻田修一 教授)

計測自動制御学会SI2013優秀講演賞 「振戦の合成速度に着目した不随意挙動減衰フィルタの筆記支援への適用」
(2013.12.20)



工学研究所(博士前期課程)2年 樋口慶二
(矢野賢一 教授)
坂本良太(医学部附属病院助教)、矢野賢一(工学部教授)との共同発表

野村総研「NRI学生小論文コンテスト」優秀賞
(2013.12.21)



人文学部 2年 今井愛美
(田中亜紀子 教授)

野村総研 「NRI学生小論文コンテスト」佳作
(2013.12.21)



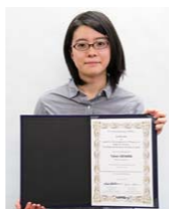
人文学部 2年 山本隆平
(田中亜紀子 教授)

2013-CHINESE GOVERNMENT AWARD FOR OUTSTANDING SELF-FINANCED STUDENTS ABROAD
(2014.1.12)



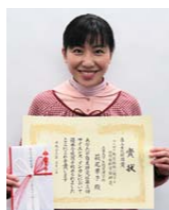
医学系研究所(博士課程)4年 張貝貝
(田中利男 教授)

第23回日本MRS年次大会 「エコ・エネルギーを切り拓く先進材料研究」奨励賞
(2014.1.16)



生物資源学研究所(博士前期課程)2年 上原有加里
(船岡正光 教授)

第3回サイエンス・インカレ研究発表会 畠山文化財団賞
(2014.3.1)



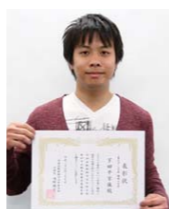
生物資源学部 4年 萩尾華子
(宮崎多恵子 准教授)

第6回全日本大学対抗 ミートジャッジング競技会 総合部門 第一位
(2014.3.7)



生物資源学部 2年 寺村珠里
(近藤 誠 准教授)

計測自動制御学会中部支部 第四十五期支部賞 学業優秀賞
(2014.3.7)



工学部 4年 下田平幸儀
(矢野賢一 教授)

夏季休業

三重大学における 夏季一斉休業について

三重大学(医学部附属病院を除く)では、平成26年8月14日(木)~15日(金)を一斉休業させていただきます。ご理解の程よろしくお願ひします。

8/14~15



日本機械学会 畠山賞
(2014.3.25)



工学部 4年 井高弘稀
(矢野賢一 教授)

第十一回日台文化交流 青少年スカラシップ 優秀賞
(2014.3.25)



人文学部 2年 武藤十夢
(田中亜紀子 教授)
秀作:岡田遼(左)、林茜(右)人文学部2年生

日本貝類学会平成26年度大会 学生最優秀発表賞
(2014.4.13)



生物資源学研究所(博士後期課程)3年 山田充哉
(古丸 明 教授)
日本最大クラスのジミを手に

平成26年度繊維学会年次大会 (創立70周年記念大会) 第9回若手ポスター賞
(2014.6.12)



生物資源学研究所(博士前期課程)1年 水谷春香
(船岡正光 教授)

附属学校園から

附属幼稚園

■平成27年度入園希望の方へ

- 平成27年度園児募集 募集要項等の交付期間
◎日時◎ 平成26年9月1日(月)~9月19日(金) ※土日、祝日を除く 9:00~12:00、13:00~15:00
- 願書受付期間
◎日時◎ 平成26年10月1日(水)~10月10日(金) ※土日を除く 9:00~12:00、13:00~15:00
- 入園のための説明会
◎日時◎ 平成26年9月18日(木) 14:00~15:00
- 選考面接
◎日時◎ 平成26年10月27日(月)、28日(火)
※詳細については、お問い合わせください。☎059-227-1711

■緑いっぱいの園庭で遊びませんか?

- 園庭を開放しています。
◎日時◎ 毎週月曜日と木曜日 13:00~16:30 (10月から月曜日は15:00からになります。)
- ◎その他◎ 事務室受付で名前を記入してから遊んでください。トイレは管理棟、昇降口の所をご利用ください。ゴミはお持ち帰りください。使った玩具等は必ず片づけてください。

附属小学校

■平成27年度入学希望の方へ

- 選考日時
第1次選考 ◎日時◎ 平成26年11月22日(土)
第2次選考 ◎日時◎ 平成26年11月26日(水)
- 願書配付期間
◎日時◎ 平成26年9月24日(水)~10月9日(木) ※土日を除く 9:00~12:00、13:00~16:00
- 出願期間
◎日時◎ 平成26年10月14日(火)~10月31日(金) ※土日を除く 9:00~12:00、13:00~16:00
- 学校説明会
◎日時◎ 平成25年10月10日(金) 14:00~15:30
◎会場◎ 附属小学校体育館
※詳細については、お問い合わせください。☎059-227-1295

附属中学校

■平成27年度入学希望の方へ

- 学校説明会を12月初旬に予定しています。入学希望者は必ず説明会に出席していただきますようお願いいたします。説明会時に入学願書一式を配付します。入学選考等の日程は、11月初旬に本校ホームページにて公表します。

附属特別支援学校

■平成27年度入学希望の方へ

- 小学部/中学部
■選考日時
◎日時◎ 平成26年11月13日(木)
- 願書配付開始日
◎日時◎ 平成26年10月1日(水)
- 出願期間
◎日時◎ 平成26年10月21日(火)~10月31日(金) ※土日を除く 9:00~16:00
- 高等部
■選考日時
◎日時◎ 平成27年1月15日(木)
- 願書配付開始日
◎日時◎ 平成26年10月1日(水)
- 出願期間
◎日時◎ 平成26年11月25日(火)~12月5日(金) ※土日を除く 9:00~16:00

※詳細については、お問い合わせください。☎059-226-5193

市民開放授業

平成26年度後期三重大学市民開放授業

受講生募集のお知らせ

三重大学では、本学が開講している正規の授業を市民等の皆様に学生とともに受講していただく三重大学市民開放授業を開設しております。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL <http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html>

◎開放授業科目◎

- 人文学部 ……ドイツの言語B、ドイツ文学論B、自然環境論B、日本考古学特講F
- 教育学部 ……現代社会の課題と国民的教養、教育社会学、教育社会学演習、被服構成学、メディアリテラシーと情報表現II
- 工学部 ……量子力学(電気電子工学科)、電磁気学II及び演習、技術者倫理、量子力学II(物理工学科)
- 生物資源学部 ……資源動物学、環境経済学、流域保全学、食料生産システム学、景観設計論、果樹生育生理学
- 国際交流センター…基礎I生活日本語1B、基礎II生活日本語3B、中級I文法・読解B、中級II文法・読解B
- 共通教育センター…比較政治文化、建築・技術・人間-防災論、東洋史II、日本史IV、知財学入門、ドイツ語I基礎(後)、ドイツ語I演習(後)、ドイツ語II講読、ドイツ語II演習、英語II TOEIC受験対策

- ◎開催日◎ 2014年後期の講義期間
- ◎募集定員◎ 1科目2名~20名(授業科目により異なります。)
- ◎受講料◎ 1科目9,400円(一部の科目13,500円)
- ◎受講資格◎ ありません。ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。
- ◎受講申込受付期間◎ 平成26年9月1日(月)~9月8日(月)
- ◎問い合わせ先◎ 学務部教務チーム/[☎059-231-5520](mailto:059-231-5520) または、各学部学務担当等(募集要項参照)

生物資源学部特別支援プログラム

受講生募集のお知らせ

農学関連特別プログラム・森林関連特別プログラム・水産関連特別プログラムを開講しています。募集要項や申込方法等詳しくはこちらをご覧ください。

URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/admission/undergraduate/tokubetu_2014.pdf

◎開放授業科目◎

- 農学関連特別プログラム (後期コース) 植物遺伝育種学、野菜環境生理学、食用作物学、昆虫学、植物病原微生物学、生理生態機能調節実習および生物資源有効利用実習(後期コース)
- 森林関連特別プログラム (後期コース) 樹木生理学、森林・緑環境評価学、応用測量学、治水砂防学、森林・緑環境計画学、森林資源生物学実験
- 水産関連特別プログラム (後期コース) 海事概論、水産食品衛生学、海洋個体群動態学、水族増殖生態学、資源生物学、海洋動物学実験

- ◎開催日◎ 2014年の講義期間
- ◎募集定員◎ 各プログラム若干名
- ◎受講料◎ 入学検定料: 9,800円
入学料: 28,200円
授業料: 1科目9,400円、後期コース56,400円
- ◎受講資格◎ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認めた者。
- ◎受講申込受付期間◎ 平成26年7月28日(月)~8月1日(金)
- ◎問い合わせ先◎ 生物資源学研究所チーム学務担当/[☎059-231-9735](mailto:059-231-9735)

公開講座・シンポジウムなど

第12回青少年のための科学の祭典・三重大学大会

同時開催：第8回 サイエンス on ステージ

- ◎日時◎ 平成26年7月19日(土) 10:00~17:00
- ◎出展者◎ 三重大学教員・学生、中学校・高校教員、科学ボランティア 他
- ◎会場◎ 三重大学講堂
- ◎受講料・定員◎ 無料・自由参加
- ◎受講対象者◎ 児童、保護者、市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 教育学部 後藤太郎/[☎059-231-9260](mailto:059-231-9260)
URL <http://sci.edu.mie-u.ac.jp>

人文学部 伊賀連携フィールド2014年度前期

市民講座 忍者・忍術学講座「姿態変容する忍者」

- ◎会場◎ ハイピア伊賀3階 上野商工会議所 コミュニティ情報プラザホール
- ◎受講料・定員◎ 無料・自由参加
- ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当/[☎059-231-9194](mailto:059-231-9194)
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp

■江戸時代の武士と忍者

- ◎講師◎ 遠山 敦(人文学部・教授)
- ◎日時◎ 平成26年7月19日(土) 10:30~12:00

■くのいちとは何か

- ◎講師◎ 吉丸雄哉(人文学部・准教授)
- ◎日時◎ 平成26年8月9日(土) 10:30~12:00

■奥瀬はんの忍術研究

- ◎講師◎ 北出橋夫(地域誌「伊賀百筆」編集長)
- ◎日時◎ 平成26年9月20日(土) 10:30~12:00

？「発見塾」

- ◎受講料・定員◎ 無料・自由参加
- ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 三重大学附属図書館/[☎059-231-9032](mailto:059-231-9032)
URL <http://www.lib.mie-u.ac.jp>

■超高齢社会にどう向き合うか~医療福祉介護の展望~

- ◎講師◎ 和田康紀(人文学部・准教授)
- ◎日時◎ 平成26年7月26日(土) 13:30~15:00
- ◎会場◎ 一志保健センター(とことめの里一志内)

■南海トラフ地震に備える~生き残り、生きのびて、次につなげるために~

- ◎講師◎ 川口 淳(工学部・准教授)
- ◎日時◎ 平成26年9月27日(土) 13:30~15:00
- ◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■南海トラフ地震に備える~生き残り、生きのびて、次につなげるために~

- ◎講師◎ 川口 淳(工学部・准教授)
- ◎日時◎ 平成26年11月22日(土) 14:00~15:30
- ◎会場◎ 美杉総合文化センター 多目的ホール

■ここまでわかった!忍者・忍術ってホント?

- ◎講師◎ 山田雄司(人文学部・教授)
- ◎日時◎ 平成27年1月24日(土) 13:30~15:00
- ◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

■気象と市民生活(仮題)

- ◎講師◎ 立花義裕(生物資源学部・教授)
- ◎日時◎ 平成27年3月28日(土) 13:30~15:00
- ◎会場◎ 津リージョンプラザ2階 健康教室

伊勢国際宗教フォーラム 津大会 「和食のこころ 祈りのこころ」

- ◎日時◎ 平成26年7月27日(日) 13:00~16:00
- ◎会場◎ 高田会館ホール(三重県津市一身田町2819)
- ◎受講料・定員◎ 一般1,000円(学生は無料)・自由参加(予約可・席に限り有)
- ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 人文学部 久間泰賢/[☎059-231-9104](mailto:059-231-9104)
E-mail: kyuma@human.mie-u.ac.jp
伊勢国際宗教フォーラム URL <http://www.iifr.jp/>

第32回三重大学工学部建築学科「建築展」

- ◎受講料◎ 無料 ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 工学部 松浦健治郎/[☎059-231-9477](mailto:059-231-9477)

■建築展2014

- ◎日時◎ 平成26年8月6日(水)~8月10日(日) 9:00~17:00
※6日は13:00より開催、9日は18:00終了、10日は16:00終了
- ◎会場◎ 三重県総合文化センター2階 第1ギャラリー ◎定員◎ 自由参加

■建築展特別講演会

- ◎講師◎ 建築家 團 紀彦氏
- ◎日時◎ 平成26年8月9日(土) 13:30~15:15
- ◎会場◎ 三重県総合文化センター 小ホール ◎定員◎ 300名(当日先着順)

生物資源学部「公開講座」

- ◎問い合わせ先◎ 生物資源学研究所チーム総務担当
[☎059-231-9673](mailto:059-231-9673)/FAX059-231-9634
E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp
生物資源学部公開講座情報 URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp/about/service/extension/>

■親子孫でたのしい仮説実験講座2014「ミクロの世界を旅しよう!」

- ◎講師◎ 木村妙子(生物資源学部・准教授)
- ◎日時◎ 平成26年8月9日(土)、10日(日) ※2日間連続講座 10:00~15:00
- ◎会場◎ 三重大学生物資源学部
- ◎受講料・定員◎ 詳細は上記URLよりご確認ください。・80名
- ◎受講対象者◎ 小学生~大人
- ◎申込期間◎ 平成26年7月1日(火)~7月18日(金)(定員になり次第締切)
- ◎申込方法◎ E-mailまたはFAX(振込は申込受付後)

■地域の資源循環を考える 一食に関わるリサイクルの今とこれから~

- ◎日時◎ 平成26年10月25日(土)、26日(日) 開講予定
- ※詳細は後日上記URLにて掲載予定です。

第17回「リフレッシュ理科教室」

「風の力であそぼう!」

- ◎講師◎ 三重大学教員 他
- ◎日時◎ 平成26年8月23日(土) ※全3回 同日開催
1回目 10:00~11:30、2回目 13:00~14:30、3回目 15:00~16:30
- ◎会場◎ 三重大学工学部 大会議室
- ◎受講料・定員◎ 無料・180名(1回につき60名) ◎受講対象者◎ 小学3年生~中学生
- ◎申込期間◎ ~平成26年8月1日(金) ◎申込方法◎ 下記URLよりご確認ください。
- ◎申込み・問い合わせ先◎ E-mail: refresh@ne.phen.mie-u.ac.jp
URL <http://www.ne.phen.mie-u.ac.jp/user/RefreshRika/>

教育学部理科教育「星空観望会」

- ◎講師◎ 伊藤信成(教育学部・教授)
- ◎日時◎ 平成26年9月8日(月) 18:30~20:30
- ◎会場◎ 教育学部校舎1号館屋上
- ◎受講料・定員◎ 無料・自由参加 ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 教育学部 伊藤信成/[☎059-231-9240](mailto:059-231-9240)
三重大学天文学研究室 URL <https://www.facebook.com/astromie>
※詳細は上記URLに掲載予定です。
次回予告: 平成26年10月8日(水)、平成26年12月中旬

人文学部「公開ゼミ」・「公開講座」

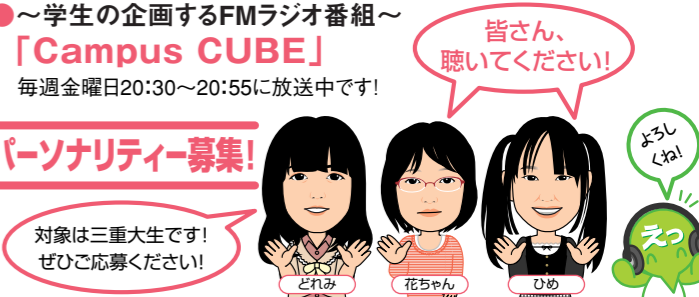
- ◎日時◎ 平成26年9月~12月開講予定 ◎会場◎ 三重大学人文学部
- ◎受講料・定員◎ 公開ゼミ: 無料・各20名(定員まで先着順に受け付けます)
公開講座: 無料・自由参加(要申込)
- ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎申込期間◎ 8月初旬~各開講日の5日前まで ◎申込方法◎ 電話、FAX、E-mail
- ◎申込み・問い合わせ先◎ 人文学部チーム総務担当
[☎059-231-9196](mailto:059-231-9196)、059-231-9195/FAX059-231-9198
E-mail: hum-somu@ab.mie-u.ac.jp
URL <http://www.human.mie-u.ac.jp/chiki/kouza/index.html>
※詳細は7月中旬頃に上記URLにて掲載予定です。

医学部「公開講座」

- ◎日時◎ 平成26年10月開講予定 ◎会場◎ 医学部先端医科学教育研究棟
- ◎受講料・定員◎ 無料・100名 ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 医学・病院管理部総務課総務係/[☎059-231-5428](mailto:059-231-5428)
E-mail: s-soumu@mo.medic.mie-u.ac.jp
URL <http://www.medic.mie-u.ac.jp/event/opensemiphp>
※詳細は8月下旬頃に上記URLに掲載予定です。

FM三重で放送中!!

~学生の企画するFMラジオ番組~
「Campus CUBE」
 毎週金曜日20:30~20:55に放送中です!



皆さん、
聴いてください!

★応募先★
 三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

三重テレビ放送で放送中!!

きらめき☆三重大学!

三重大学の学生が、本学の魅力を紹介します。

今後の放送日 (予定)
 時間はいずれも12:00~12:30
 2014年 8月5日(火)
 8月26日(火)
 9月30日(火)




再放送は当日の17:00~17:30
 及び翌日の7:00~7:30です。
 (三重テレビ第2チャンネル)

お願い

三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法● 三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、必須事項をご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局 【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
 E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
 URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/>

お問い合わせ先
ご郵送先

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、“三重大”に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
 - ①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて…

三重大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成26年9月30日(火)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で3名に「三重大学ブランド商品詰め合わせ(三重大学カレー2箱、三重大学[欧風]ジビエカレー1箱、チェンミコーヒー1箱)」を、50名に「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大学ブランド商品詰め合わせ」、「えっくすくんわくわくシャーペン」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



新しく生まれ変わったレーモンドホールで三重大学の四季折々の写真展を行いました。本学を歩いていると、実に自然の移り変わりが美しい大学だと再認識します。(ロッキー)

えっくすの編集では、毎回多くの出会いがあります。今回も「輝くO・OG」の皆さんにお会いし、パワーをたくさんいただきました。私達も素敵に輝けますように! Shine like a star☆(織姫)

料理中よく怪我します。親指の第一関節にいまだに傷跡が…。いくつ生傷をこさえたら料理上手になるんでしょう? 果てしない道のりです。(プカプカ)

ようやく今年度最初の「えっくす」が完成してほっとしています。多くの方々に読んでもらえるといいなあ。(イチカワ)

E-mail, Facebook, Twitter, Line…離れていてもすぐに連絡できて便利ですね。しかし、本当に相手とコミュニケーションができていないのか、と不安になるときがあります。パソコンや携帯電話に頼らず(写真のように)相手に飛び込んでいく、体を張った交流も時には必要ではないでしょうか。(S.O.)

広報室に来て、1年が経ちました。2年前の今頃はカナダの青い空の下で生活していたなんて…夢のようです。今回はこの経験がえっくすの編集に活かせることはなかったですが、いつかきっと!(きやろらいん)

自然いっぱい三重大学。この時期、虫もいっぱいやってきます(涙)しかし、たまに虫を追って嬉しい訪問者も♪(nico)

気分リフレッシュも兼ねて、お灸をしてみました。夏の疲れもちょっと回復!!(北の大地)



古くから「奈良道」や「大和道」と呼ばれていた本街道は、明治期になって県が「奈良街道」と名付けました。そして、区間も一志郡中林村(松阪市)から久居(津市)を経て安濃郡五百野村(津市美里町)の伊賀街道に至る約四里四町(一六・一km)と定められたのです(「明治十年県統計表」)。

中林の月本地区には「月本おひわけ」と刻んだ大きな道標が今も立っており、ここが伊勢街道(参宮道)と奈良街道の分岐点です。

その月本追分から奈良街道を久居に向つていくと雲出川があります。本街道の雲出川への架橋は遅れ、明治期にも一志郡川原木造村(松阪市)と牧村(津市)の間で渡し船が往来していました。しかし、船の老朽化などで浸水や転覆事故が起り、明治末期にようやく架橋の工事が始まり、大正二(一九一三)年に完成しました。橋は「大正橋」と命名され、その歴史を物語っています。

雲出川を渡ると、街道は物部神社の森を東に眺めながら川に沿って進み、途中水田地帯を抜けて牧の集落のある一段高い台地に登ります。この牧地内では三か所に小さな道標が残存しています。特に台地麓の道標は大半が埋められています。そのあたりの道は「道者道」と言われ、古い街道の面影がしのべれます。

また、牧から川方に入ると、天満宮の参道入口に文政四(一八二二)年に献納された擬宝珠の常夜灯が見られます。そして、久居に至ると、まず二ノ町には弘化三(一八四六)年建立の比較的大きな道標が残されており、町筋の多い久居の町を通る旅人の頼りとなつていたようです。

三重大学附属図書館 研究開発室客員教授 吉村 利男



「奈良街道 月本〜久居」



歴史街道シリーズ

三重大学 企画総務部総務チーム 広報室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
 ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
 E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp

本誌お問い合わせ先

三重大 X[えっくす] vol.32

平成26年7月発行
 ●発行/三重大学広報委員会
 ●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室
 ●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp

◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等、相談会においても、
本学の様々な情報を提供いたします。
詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

生きる力

感じる力

考える力

コミュニケーション力

内容

学部紹介

体験授業

研究室見学

学生による紹介

なんでも相談
コーナー

保護者向け
企画

2014 MIE UNIVERSITY Open Campus

三重大学 オープン キャンパス

8/7 THU · 8/8 FRI

教育学部

医学部医学科

医学部看護学科

工学部

人文学部

生物資源学部



URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

三重大学オープンキャンパス2014

click!

検索

※参加にはお申し込みが必要です。申込方法はホームページをご覧ください。

「4つの力」で
世界に伸びよう

予告
入試相談会
開催予定

とき 9月27日(土)

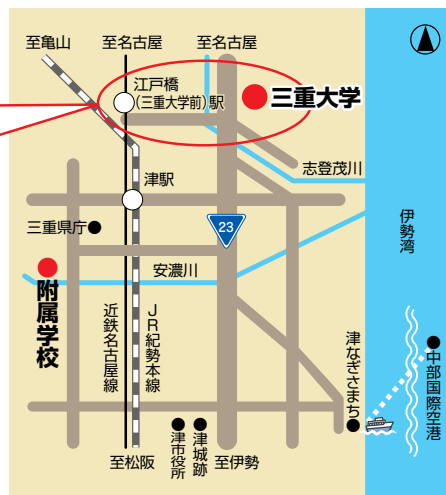
ところ 三重大学
環境・情報科学館

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学学務部入試チーム

TEL 059-231-9063/FAX 059-231-5382

周辺詳細図



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

 三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-232-1211(代)
<http://www.mie-u.ac.jp/>

